

JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

令和元年10月31日 発行 第76号

JAPAN FISHING SHOWが、変わります。
釣りフェスティバル
 Fishing Fest. 2020 in Yokohama

釣りの楽しさ、リアル体験!
リアルフィッシングワールド
 REAL FISHING WORLD

釣りとお出かけ、新企画がいっぱい!!
アウトドアフィールド
 OUTDOOR FIELD

釣って満足、釣りって美味しい!!
釣りめしスタジアム
 TSURIMESHI STADIUM

へら鮎、バス、ソルト、船釣り 釣種エリアも充実 **誰でも楽しめるトップアングラーのトークショー**

HAPPY! FRIDAY 金曜日はお楽しみ企画満載 **ここでしか手に入らない、オリジナルグッズ販売**

1.17 FRI 18 SAT 19 SUN みなとみらい・パシフィコ横浜

1.17 プレビュータイム 9:00-12:00 | 一般 | 12:00-18:00 | 1.18-19 9:00-17:00

当日：1,500円 前売：1,300円
 ベアチケット 前売：2,400円(EMTG電子チケットのみで販売)
 EMTG電子チケットは 10月下旬より販売

高校生以下 70歳以上 入場無料

https://www.tsurifest.com | 釣りフェスティバル

CONTENTS	釣りフェスティバル 2020 in Yokohama 活動報告	P.1	LOVE BLUE委員会活動報告	P.5	規格・安全委員会活動報告	P.7	目次
	企画プロジェクトからのお知らせ	P.7	第28回理事会開催報告	P.7	事務局だより	P.8	会員動向
							P.8

釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2020 in Yokohama

出展社説明会 & 小間割抽選会開催報告

去る9月27日（金）、東京都中央区アットビジネスセンター東京駅八重洲通り会議室において、釣りフェスティバル2020 in Yokohamaの「出展社説明会」及び「小間割抽選会」を開催いたしました。

当日は、出展社及び施工関係者など88社・103名の出席をいただきました。主催者を代表して、大村一仁 JAF実行委員会委員長が、多くの企業の皆様にご出展いただきましたこと御礼申し上げます。「釣り文化を創造し健やかな未来を育む」という大きな開催理念のもと、今回名称を“釣りフェスティバル”に変更し、新たなチャレンジを行っていきます。コアな釣りファンに新しい技術や製品の紹介はもとより新たな3つの施策を打ち出し、体験を通じた釣りの楽しさ、アウトドアとの融合による釣りへの誘い、釣りグルメを通じて多くの方々に楽しんでいただけるフェスティバルを展開していきます。出展社をはじめ多くの皆様と共にフェスティバルを盛り上げ釣りファン拡大に繋げるため、出展社の皆様にご理解とご協力をお願いしますとの御礼とあいさつを行いました。つづいて、荒井一郎 副委員長が、新たな3つの施策、アトラクション計画、広報・動員計画についてこれまでの取り組みを説明いたしました。このほか、運営事務局から出展要項、各種申請書類などについて説明があり、その後小間割抽選会と個別相談会をおこない閉会となりました。



“釣り文化”を創造し、 健やかな未来を育む。

釣りには、自然や生命とのふれあい、道具へのこだわり、
家族や釣りファンとの交流など、多様な魅力が詰まっています。

このジャパンフィッシングショーは、日本の多様な自然と
世界最先端の技術が生む“釣り文化”を、国内外に発信する国内最大級のショー。

“釣り文化”の創造を図り、人々の健康な心と体を育むとともに、
健やかで美しい社会づくりと釣り界の発展につながる取り組みを続けていきます。

メーカーを始め、釣り業界の関係者が互いに協力し、刺激し合いながら、
釣り具の“今”を伝え、釣りにまつわる人・モノ・コトが集まる場をつくる。
そこは、お客さまにとっては、釣りの生きた魅力を肌で感じる絶好の機会であり、
出展社様にとっては業界最大級のビジネスチャンスでもあります。

釣り界の将来を見据えた、国民的レジャースポーツにするために、
私たちが創造するのは、“釣り”を通して豊かな社会に貢献する未来です。

一般社団法人 日本釣用品工業会

会長 島野 容三

釣りフェスティバル2020 3つの施策

釣り初心者・意向者および若者層、ファミリー層という新たな来場期待層へのアプローチ施策として、フェスティバルゾーン間での連動・体験施策を構築します。

釣りめしスタジアム ～釣りっておいしいね～

自分が釣りあげた魚を美味しく料理して食べることもまた、釣りならではの楽しみです。「釣りフェスティバル」では、こうした“釣りの美味しさ”を多くの方に知っていただくために、従来は釣り人だけが堪能していた絶品・釣りめし料理を一堂に集結した、日本初の釣りめしイベント『釣りめしスタジアム』を開催します。



アウトドアフィールド ～釣りもやってみたいね～

アウトドアレジャー・ファンへの“釣り体験”の入口としてもらう動機付けとして、水辺のアクティビティを中心に、今のアウトドアの世界観と釣りを近づけるイメージ・演出をおこない、親子で遊ぶアウトドアを意識し、若年層親ファミリーへ、フィッシングアクティビティを提案します。



リアルフィッシングワールド ～釣りって楽しいね～

『釣りの祭典』である本催事ならではの実釣体験。
釣具を操り、魚の引きを体感し、生きた魚に触れることで“釣り”への興味喚起を促進します。



釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2020 in Yokohama

会場マップ (2019年9月27日時点)



LOVE BLUE 委員会からのお知らせ

海と日本PROJECT 公式招待

2019年7月15日（月祝）、水辺の環境保全活動を社会貢献事業として釣り界を挙げて取り組む、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業は、本年も、政府主催で開催された「海の日」行事「海と日本プロジェクト」総合開会式・レセプションへ公式に招待をいただきました（主催：総合海洋政策本部、国土交通省、日本財団：於 晴海旅客船ターミナル外岸壁 STU48号／ホテルマリナーズコート東京）。レセプションでは、政府関係者や国土交通省海事行政関係者の皆様とLOVE BLUEの今後さらなる関係の深化に向けて、当工業会を代表して柿沼清英 理事から、本事業の事業報告などを行って参りました。



開会挨拶 宮腰光寛 海洋政策担当大臣
(全国内水面漁業協同組合連合会 代表理事会長)



(左) 国土交通省 海事局長 大坪新一郎 氏、
(右) 国土交通省 総合政策局長 蒲生篤実 氏



(左) 国土交通省 海事局 官房技術審議官 宮武宜史 氏



(左) 国土交通省 海事局 検査速度課長 重富 徹 氏

LOVE BLUE プロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動では、新規実施場所2箇所を含む、11道県で49日間を実施しております。引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施して参ります。

7月～9月までの実績

期間	実施日数	実施場所
7/2～7/6	5日間	和歌山県海南市 戸坂漁港
7/9～7/11	3日間	石川県金沢市 金沢港
7/13	1日	茨城県茨城町 湊沼
7/17～7/20	4日間	北海道広尾町 十勝港
7/23～7/27	5日間	北海道積丹町 古平漁港
7/30～8/3	5日間	北海道積丹町 美国漁港
8/20～8/22	3日間	岡山県瀬戸内市 牛窓港

期間	実施日数	実施場所
8/25～8/28	4日間	長崎県長崎市 長崎港
8/31～9/3	4日間	鹿児島県枕崎市 枕崎漁港
9/6～9/8	3日間	大分県佐伯市 吹浦漁港
9/11～9/14	4日間	愛媛県伊方町 九丁漁港
9/17～9/20	4日間	高知県土佐市 宇佐漁港
9/23～9/26	4日間	徳島県鳴門市 亀浦漁港 (八木の鼻地区)
合計	11道県 49日間実施	新規2箇所

LOVE BLUE 専門機関と連携した放流事業

専門機関と連携した放流事業では今年も、釣り人の皆様にお喜びいただける魚種を対象として、展開しております。また2020年1月17日（金）からの釣りフェスティバル2020 in Yokohamaでは、今年度もオープニングセレモニーの後に、会場に隣接する臨港パーク「潮入りの池」にてカサゴ種苗による放流式典を実施致します。ご関係の皆様は是非、ご参集ください。



7月2日（火）大分県別府市亀川漁港沖・若草港
ヒラメ種苗2万2100尾（総放流数4万4200尾）



7月3日（水）大分県国東市竹津田漁港
ヒラメ種苗2万2100尾（総放流4万4200尾）



7月7日（日）鹿児島県鹿児島市錦江湾内
マダイ種苗4万尾（総放流10万9000尾）



7月10日（水）鹿児島県鹿児島市磯沖
マダイ種苗 4万5000尾（総放流10万9000尾）



7月15日（月）秋田県男鹿市船川港
ヒラメ種苗1万6000尾（総放流3万尾）



7月30日（火）神奈川県東京湾口3箇所
（金沢沖、久里浜沖、松輪沖）マダイ種苗10万尾



9月6日（金）秋田県男鹿市北浦漁港
マダイ種苗5000尾 ヒラメ種苗2万尾 クロソイ種苗2万尾

2019年度 地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する12団体が、各地で活発に活動されています。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣人の皆様に深く感謝します！」とお喜びの言葉をいただいております。引き続き、水辺を守る皆様と連携しながら展開して参ります。



8月18日(日)
特定非営利活動法人
ジョイライフさやま



9月4日(水)
全国川ごみネットワーク



9月10日(火)
公益財団法人みやぎ・環境と
くらし・ネットワーク



9月20日(金) 21日(土) 22日(日)
宗像フェスCSR推進実行委員会

規格・安全委員会活動報告

ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ (LJWG)

海上保安庁は、国の関係機関や民間の関係団体などが参加する意見交換会において、合意・推奨された事故防止のための情報を取りまとめ、誰もが安全に安心してウォーターアクティビティを楽しめるように、事故防止のための情報を発信する総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」を開設しました。LJWG（高階才文リーダー）では、この意見交換会に関係団体として高階リーダー及び柿沼清英 理事が参加致しました。この意見交換会を踏まえて、釣りをする際の安全に係る「ウォーターセーフティガイド」が作成されましたので、お知らせ致します。当工業会が主体となりライフジャケットの必要性等を含めたコンテンツを作成し、掲載しております。この中では、LJWGで取り組んできた「性能鑑定適合品（CSマーク）」や「ライフジャケット推奨表」等も紹介されています。是非、ご高覧ください。

海上保安庁 ウォーターセーフティガイド

URL : https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/00_totalsafety.html

検索ワード : 「ウォーターセーフティガイド 海の安全情報」



高階才文リーダー(左)と、柿沼清英 理事(右)

企画プロジェクトからのお知らせ

初回無料法律相談実施中

会員の皆様へ、初回無料にて法律相談をご利用頂けるサービスの提供を今年度も継続いたします。初回無料法律相談の詳細は、別添資料をご覧ください。

第28回理事会開催報告

去る、令和元年9月26日(木)に、日本フィッシング会館8階会議室において第28回理事会が開催されましたのでご報告いたします。詳細は議事録をご確認ください。

スタートアップ メディアタイアップの件につき報告があり、異議なく承認されました。

第1号議案 委員会活動報告 報告につき異議なく承認されました。

(1) LOVE BLUE委員会

環境省表敬訪問等・専門機関と連携した放流・水産庁後援 内水面の釣り場拡大事業、広報活動の報告

(2) JAF実行委員会

出展状況、アウトドアフィールド・リアルフィッシングワールド・釣り飯スタジアム等釣り人口拡大に向けた新規施策の報告

(3) 規格・安全委員会

ライフジャケット安全・啓発WG 海上保安庁ウォーターセーフティガイド（釣り編）についての報告

(4) 市場調査委員会

第23回釣用品の国内需要動向調査報告書発刊に向けての調査実施について報告

第2号議案 プロジェクト活動に関する件 報告につき異議なく承認されました。

(1) 企画プロジェクト

あした、釣り行こ！通信と外部メディアとの連携、会員向けサービス、釣りフェスティバル向けのイベントについての報告

(2) 釣りミライプロジェクト

業界横断的ワークショップを開催し釣り人口拡大に向けての提言をまとめる予定であることを報告

第3号議案 令和元年度4月～8月末収支状況に関する件 報告につき異議なく承認されました。

第4号議案 会員代表者変更及び入・退会に関する件 報告につき異議なく承認されました。

第5号議案 (一社)日本釣用品工業会 後援名義使用許諾申請に関する件 申請につき異議なく承認されました。

第6号議案 会長・専務理事の職務執行状況報告に関する件 報告につき異議なく承認されました。

第7号議案 その他報告承認事項

釣用品標準伝票製作発送業務委託先変更、理事会議事録送信方法の改善、第4回役員選考委員会について報告を行い、異議なく承認されました。



事務局だより

◆この度の台風により被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災された地域の皆さまの安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

◆JAF実行委員会（大村委員長）では、去る9月27日（金）に「釣りフェスティバル2020」出展社説明会及び小間割抽選会が開催され、各出展社の小間位置が決定しました。今回もたくさんのご出展をいただきありがとうございました。会期までに、SNSを利用した情報の拡散に努めるとともに、前売チケット拡販に取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

◆市場調査委員会（大竹委員長）では、第23回釣用品の国内需要動向調査を実施し去る10月4日に調査が完了し、回答状況の確認と市場規模数値の検討作業に入っております。調査結果は来年2月初旬に会員の皆様へお届けする予定ですので期待ください。

会員動向

お詫びと訂正

《会員代表者変更》

◆株式会社双進の代表取締役社長に佐々木識統氏が就任されました。

《移転のお知らせ》

◆ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社は下記へ移転しました。
〒135-0042 東京都江東区木場2-15-2 MAビル
TEL 03-6860-5180 FAX 03-6860-5181

令和元年7月31日付で発行いたしました第75号「入会会員」におきまして社名を誤って掲載いたしました。ご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

《入会会員》

株式会社シーフロアコントロール
代表者 代表取締役 弘田 一博氏
〒780-8040 高知県高知市神田1120-7
TEL 088-821-9155 FAX 088-821-9156

JAFTMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人
日本釣用品工業会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5F
TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>